

【令和7（2025）年度 四日市大学 研究テーマ一覧】

学 部	氏 名	連番	令和7（2025）年度研究テーマ
総合政策	浅井 雅	1	地域社会における「学問」受容 ―18世紀武家社会を中心として―
	岡 良浩	2	外国人雇用の実態に関する調査
	加納 光	3	中国初代総理―周恩来―その人格と思想の形成過程について ～日本留学中の足跡を追って～
	川崎 綾子	4	中小企業による顧客価値の創出戦略
	倉田 英司	5	歴史的まちなみの整備における文化財保存と生活環境の両立に関する研究
	小泉 大亮	6	高齢者を対象とした地域型運動グループの継続やリーダー育成に関する研究
	小西 琴絵	7	大学生の就職活動行動に対する時間的展望の多次元的影響：未来・現在・過去志向に基づく探索的検討
	小林 慶太郎	8	①地方自治体におけるセクシュアルマイノリティ政策の導入と展開 ②基礎的自治体におけるミニ・パブリックス導入の課題と可能性 ③食による地域振興の可能性と課題
	高田 晴美	9	大正時代の〈貞操論争〉と女性文学者たちによる言説
	鶴田 利恵	10	自由貿易体制の新たな展開
	富田与	11	①戦争のメタファー ②「バンクシー現象」の意味するもの ③国際システムの変化
	永井 博	12	竹山道雄『ビルマの豎琴』論
	中西 紀夫	13	日本のEVシフトの現状と今後の動向について
	Felipe Ferrari	14	戸坂潤における京都学派の批判
	二村 建也	15	①個人（家計）の金融リテラシーと金融資産の分散に関する意思決定に関する研究 ②会計や経営に関する経営者の学習
	松本 彩月	16	離島・沖縄における多胎育児家庭の現状と支援ニーズに関する研究
	三田 泰雅	17	①実践する総合政策 ②人々の社会参加はどう変わったか
	吉川 和挟	18	①政策の受容可能性の成立要件に関する事例研究 ②政策助言システムに関する研究
	Gordon Rees	19	Exploring the Impact of Student-Produced Filmmaking on Motivation in the EFL Classroom
	若山 裕晃	20	アメリカMLB球団におけるメンタルトレーニング指導の実態調査

学 部	氏 名	連番	令和7(2025)年度研究テーマ
環境情報	青木 陽子	21	日本に住む外国人と日本社会
	足立 明信	22	①圧電素子收音の音質を空気媒介マイク收音に近づけるデジタル信号処理技術の開発 ②スポーツ施設における、複合イベントに伴う音響問題に関する研究 ③マルチスピーカーを活用した空間音響アートの研究と実践
	池田 幹男	23	音響インパルス応答の計測のための信号の設計に関する研究
	大八木 麻希	24	①日光川河口付近におけるヒレイケチョウガイの生息環境特性 ②北勢中央公園内の池及びマンボの水質特性
	片山 清和	25	①AIを用いた太陽光発電量予測の高精度化 ②AIを用いたセンサーカメラ画像のスクリーニング
	鬼頭 浩文	26	災害支援体制の持続と、地域防災に中高大生が貢献する仕組みの地域社会への実装
	木藤 裕也	27	画像解析AIを用いた水産資源生物の生態調査技術開発
	黒田 淳哉	28	先端デジタル技術を用いた地域教育資源のデジタルアーカイブ構築
	野呂 達哉	29	①音声と環境DNAによるコウモリ類の検出とモニタリングに関する研究 ②名古屋市におけるアカギツネの都市化に関する研究
	樋口 晶子	30	初級英語学習者を対象としたコミュニケーション・ライティング指導における制限作文を使用したパラグラフ・ライティング指導の効果の検証
	樋口 晶子	31	マンスフィールドの「幸福」から見る結婚制度への懐疑的姿勢と安定への希求
	廣住 豊一	32	①竹林間伐材由来の資材を連用した農耕地における土壌物理化学性の経年変化（継続） ②小型試験田を用いた緩効性肥料被覆樹脂の流出量調査（継続） ③地温冷却がトルコギキョウの生育と切り花品質に与える影響（継続） ④高塩分濃度の温泉水を用いた高糖度イチゴ栽培
	古山 歩	33	伊勢・三河湾に生息するスナメリの生態調査
	前川 督雄	34	①情報環境構造の解析法ならびに生成法の開発研究 ②プログラムされた自己解体をともなう進化シミュレーション
	牧田 直子	35	①水田に生息する微小珪藻類の分類 ②プランクトンの簡易観察法の開発と教材化
	柳澤 翔士	36	①視聴覚VRシステムにおけるサラウンド方式の検討 ②ImpulseResponseによる残響再現用IRデータ計測および機器構成の検討
	柳瀬 元志	37	Z世代を対象とした過去のテレビ番組を用いての視聴研究